

月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料

平成18年12月25日

内閣府

<日本経済の基調判断>

景気は、消費に弱さがみられるものの、回復している。

企業収益は改善。
設備投資は増加。

雇用情勢は
厳しさが残るもの
の、改善に広がり
がみられる。

個人消費は、
おおむね横ばい。

輸出は横ばい、生
産は緩やかに増加。

(先行き)

- ・先行きについては、企業部門の好調さが持続しており、これが家計部門へ波及し国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれる。
- ・一方、原油価格の動向が内外経済に与える影響等には留意する必要がある。

<政策の基本的態度>

政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」に基づき、構造改革を加速・深化する。12月1日、「平成19年度予算編成の基本方針」を閣議決定した。また、12月19日、「平成19年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」を閣議了解し、12月24日、平成19年度予算政府案(概算)を閣議決定した。

政府・日本銀行は、マクロ経済運営に関する基本的視点を共有し、重点強化期間内に物価の安定基調を確実なものとするとともに、物価安定の下での民間主導の持続的な成長を図るため、一体となった取組を行う。

今月の説明の主な内容

1 企業部門

- 企業の景況感は緩やかに改善。ただし、中小企業の改善がやや鈍い。

2 家計部門

- 雇用は改善傾向で推移。
- 個人消費は、おおむね横ばい。

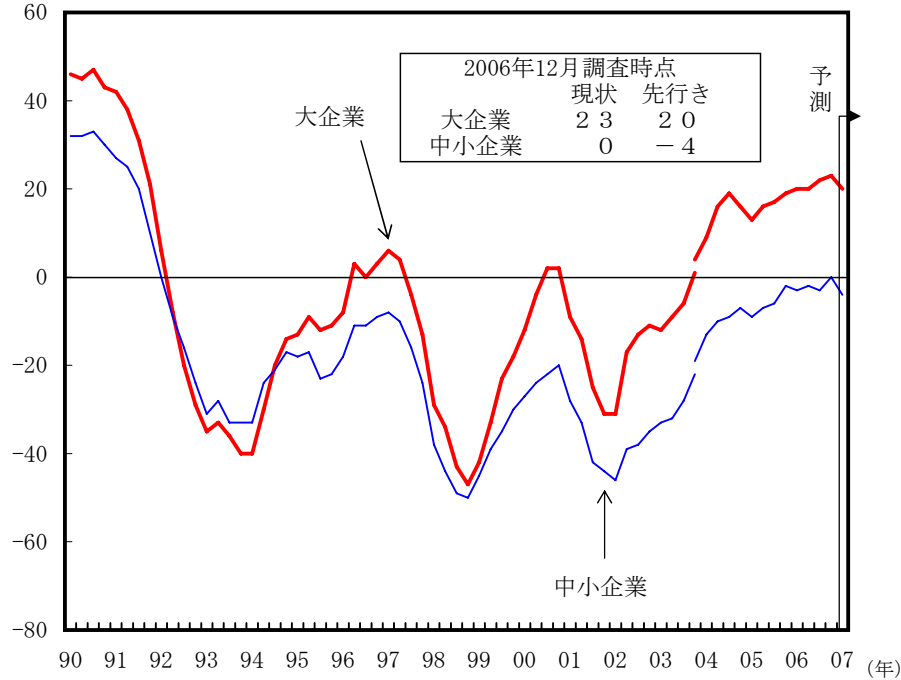
3 地域経済の動向

- 有効求人倍率の改善傾向に一服感のみられる地域も。

企業部門の動向①

○企業の景況感は緩やかに改善

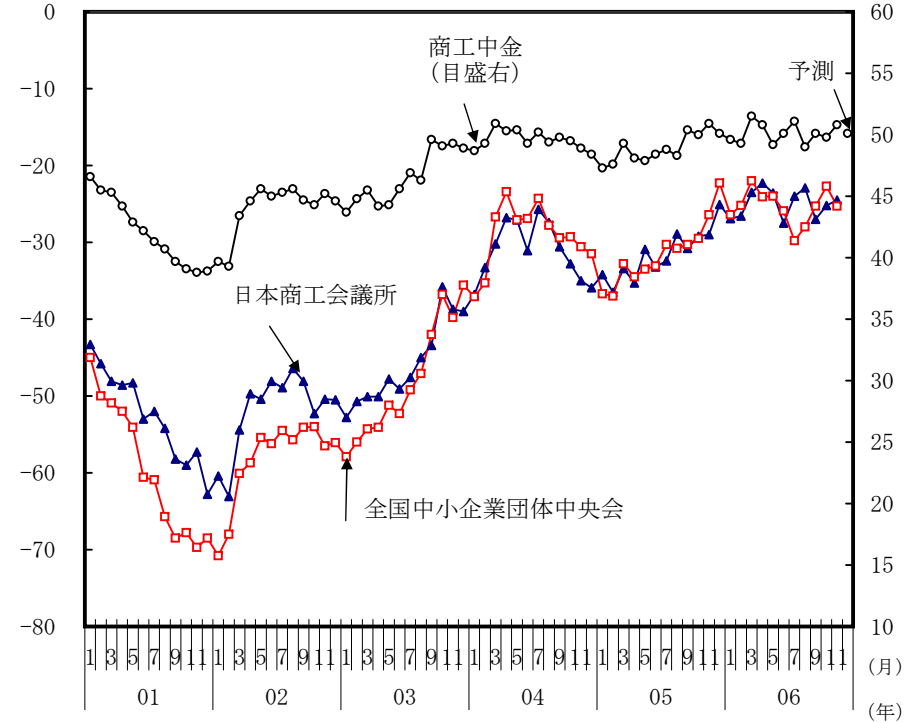
(D I : 「良い」 - 「悪い」、ポイント)



○中小企業の景況感は改善がやや鈍い

(D I : 「好転」 - 「悪化」、ポイント)

(指数)



- (備考)
1. 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」により作成。
 2. 大企業は資本金10億円以上、中小企業は資本金2千万～1億円未満。
 3. 2007年第I四半期は先行き見込値。
 4. 2004年3月調査から調査方法が変更。このためグラフが不連続になっている。

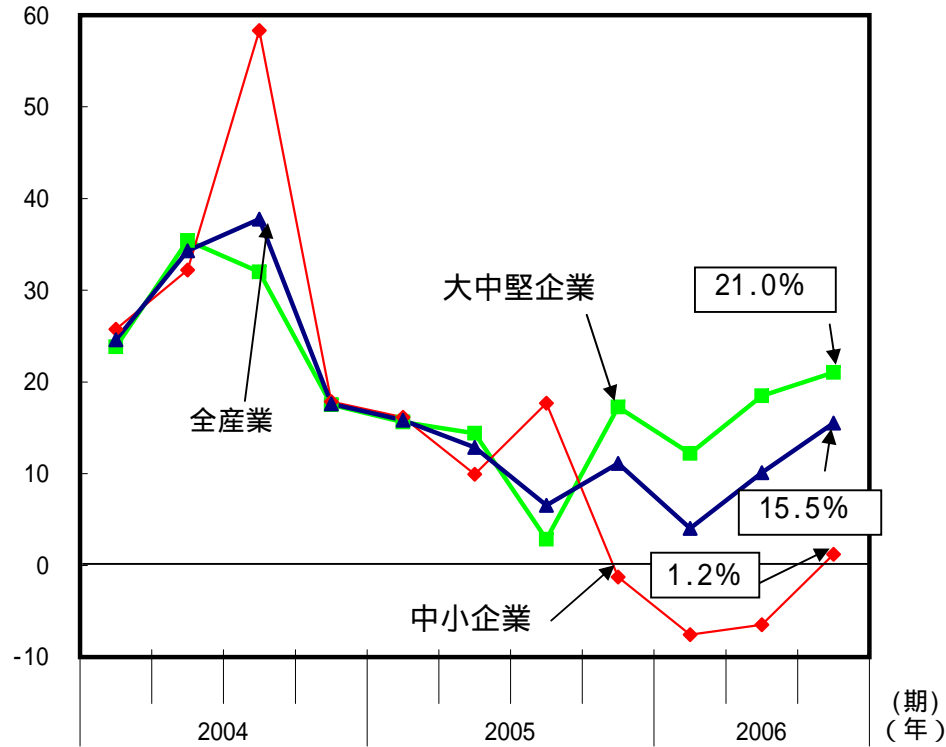
- (備考)
1. 各調査の概要：
 - ・ 商工中金…「中小企業月次景況観測」（商中取引先1000社対象）
 (景況判断指数、前月比で [「好転」×1 + 「不変」×0.5] / 調査対象企業数×100)
 指数で50が前月から「好転」「悪化」の分岐点となる。
 - ・ 日本商工会議所…「早期景気観測」（2589業種組合対象）
 (業況D I 前年同月比で「好転」 - 「悪化」)
 - ・ 全国中小企業団体中央会…「中小企業月次景況調査」（情報連絡員約3,000名対象）
 (景況D I 前年同月比で「好転」 - 「悪化」)
 2. 全産業の数値を示す。

企業部門の動向

全体として企業収益は改善しているが、
中小企業の改善は遅れている

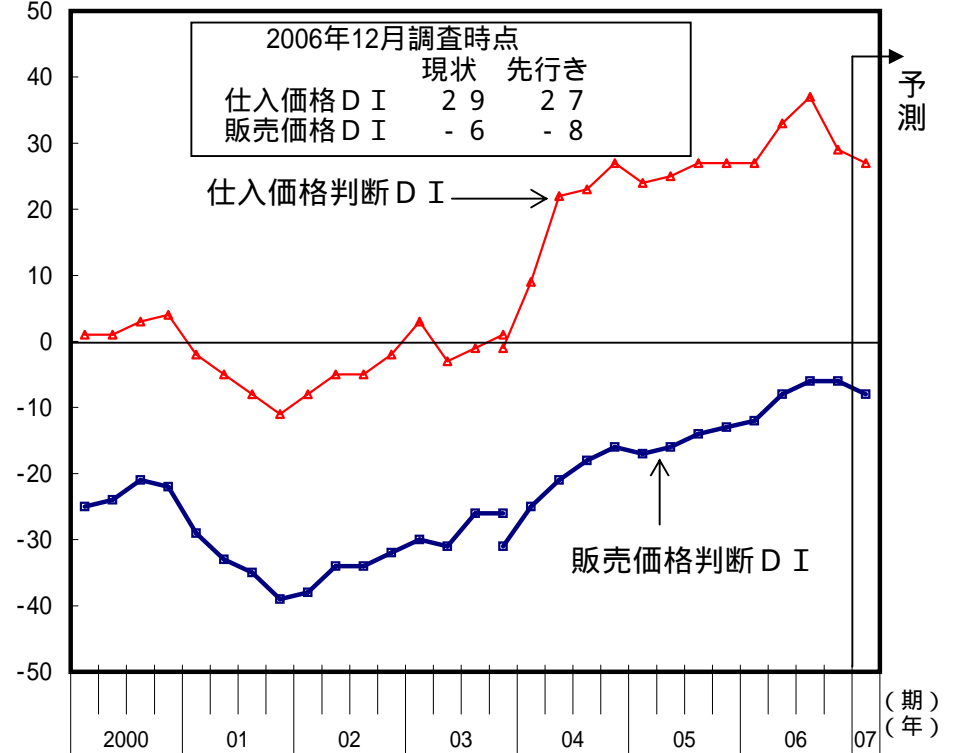
販売価格D Iは横ばいで推移する一方、仕
入価格D Iは大きく低下

(前年同期比、%)



(備考) 1. 財務省「法人企業統計季報」により作成。
2. 大中堅企業は資本金1億円以上、中小企業は資本金1千万円～1億円未満。

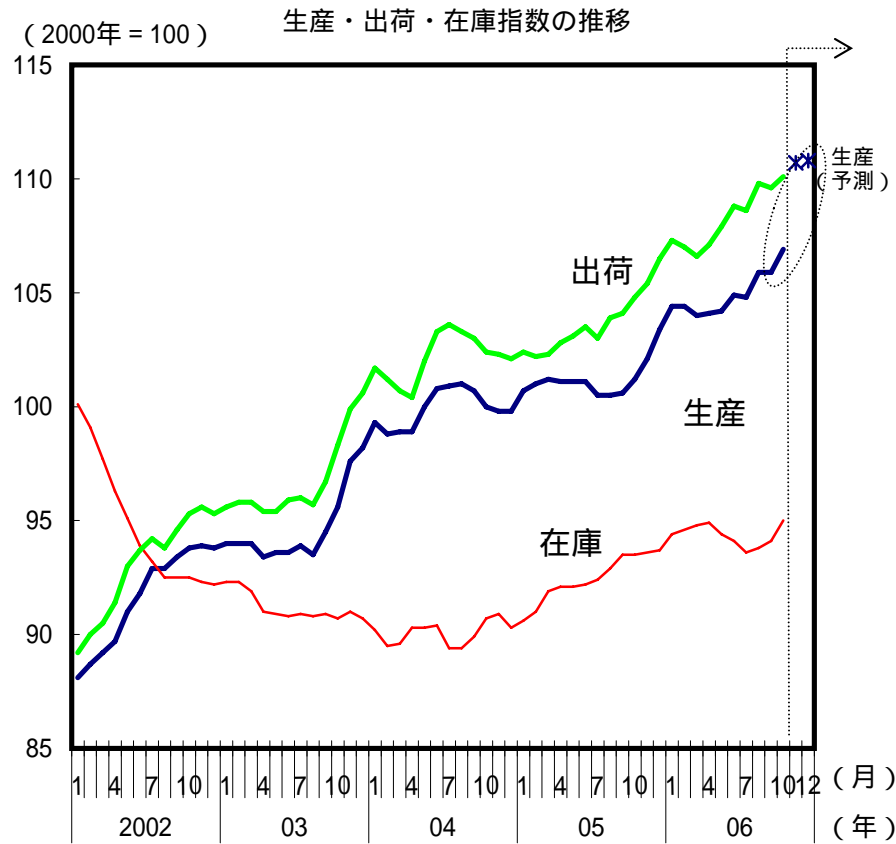
(「上昇」 - 「下落」、%ポイント)



(備考) 1. 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」より作成。
2. 調査対象企業の見直しにより、03年第 期以前と04年第 期調査以降の計数は連続しない。

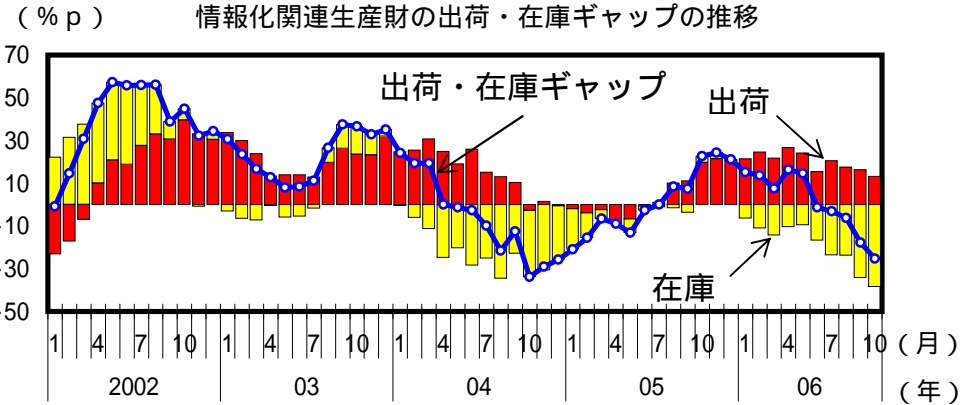
企業部門の動向

鉱工業生産は緩やかに増加



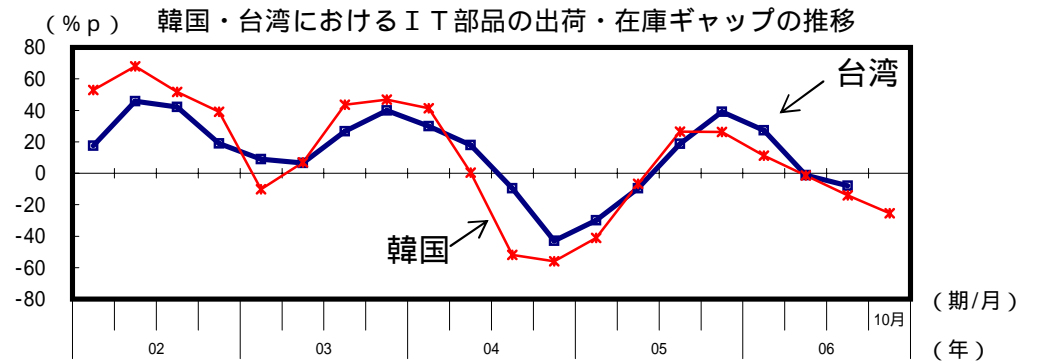
- (備考) 1. 経済産業省「鉱工業指数」により作成。
 2. 生産、出荷、在庫は季節調整値(3ヶ月移動平均)。
 3. 2006年11月、12月の生産については、予測指数の数値。

情報化関連生産財の今後の在庫動向には留意が必要



- (備考) 1. 経済産業省「鉱工業指数」により作成。
 2. 出荷・在庫ギャップ(% p) = 出荷前年比(%) - 在庫前年比(%)

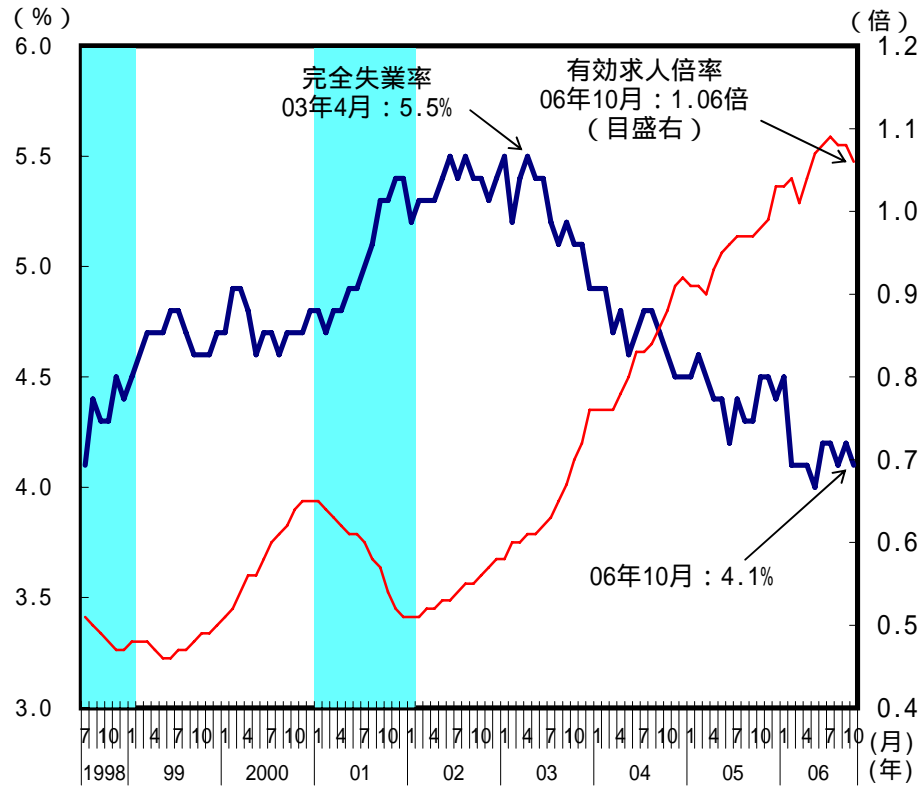
韓国・台湾においてもIT部品の在庫水準の高まりがみられる



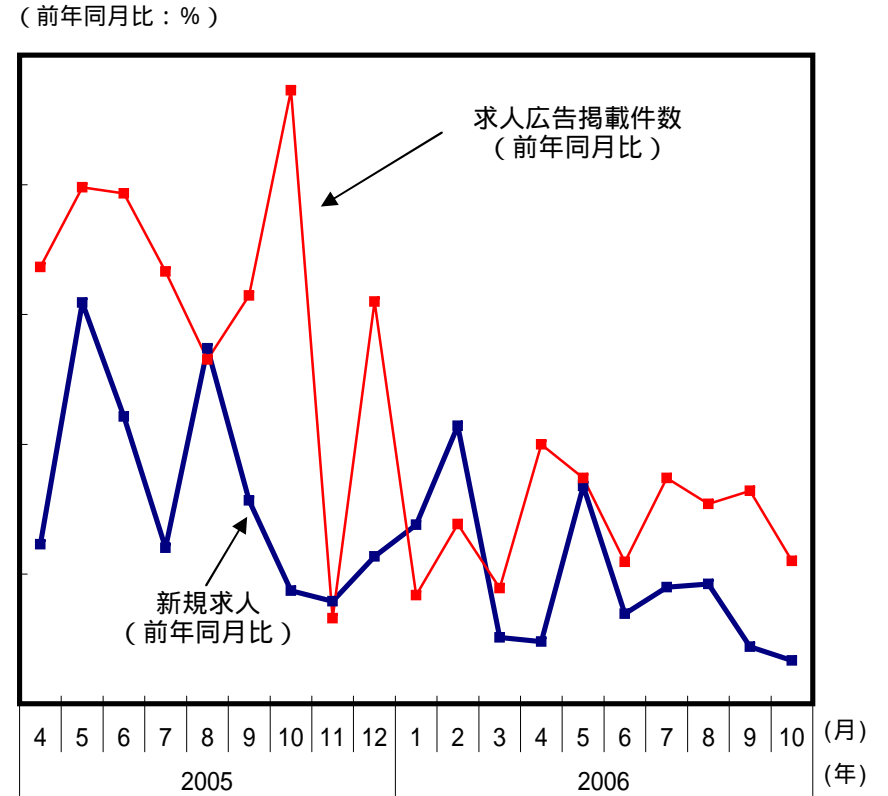
- (備考) 各国・地域統計により作成。

家計部門

雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善に広がりが見られる



求人はこのところ伸びが鈍化している



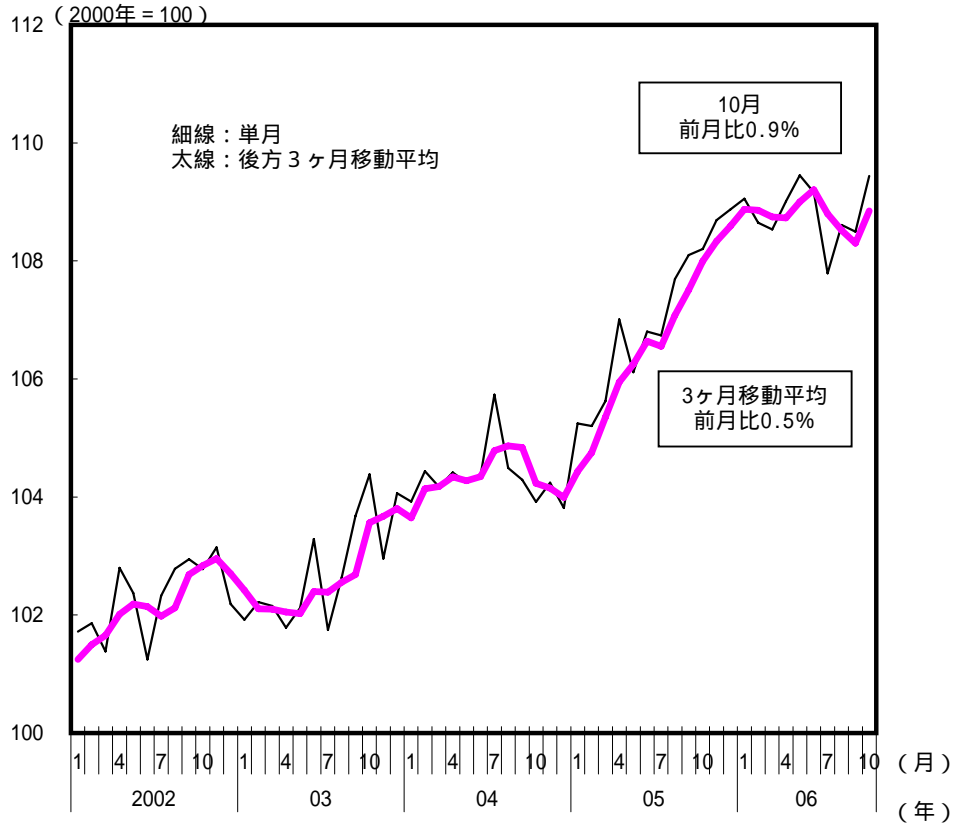
(備考) 1. 総務省「労働力調査」、厚生労働省「職業安定業務統計」より作成。
2. 季節調整値。シャドー部は景気後退期。

(備考) 厚生労働省「職業安定業務統計」、社団法人全国求人情報協会「求人広告掲載件数集計」により作成。

家計部門

消費はおおむね横ばいとなっている

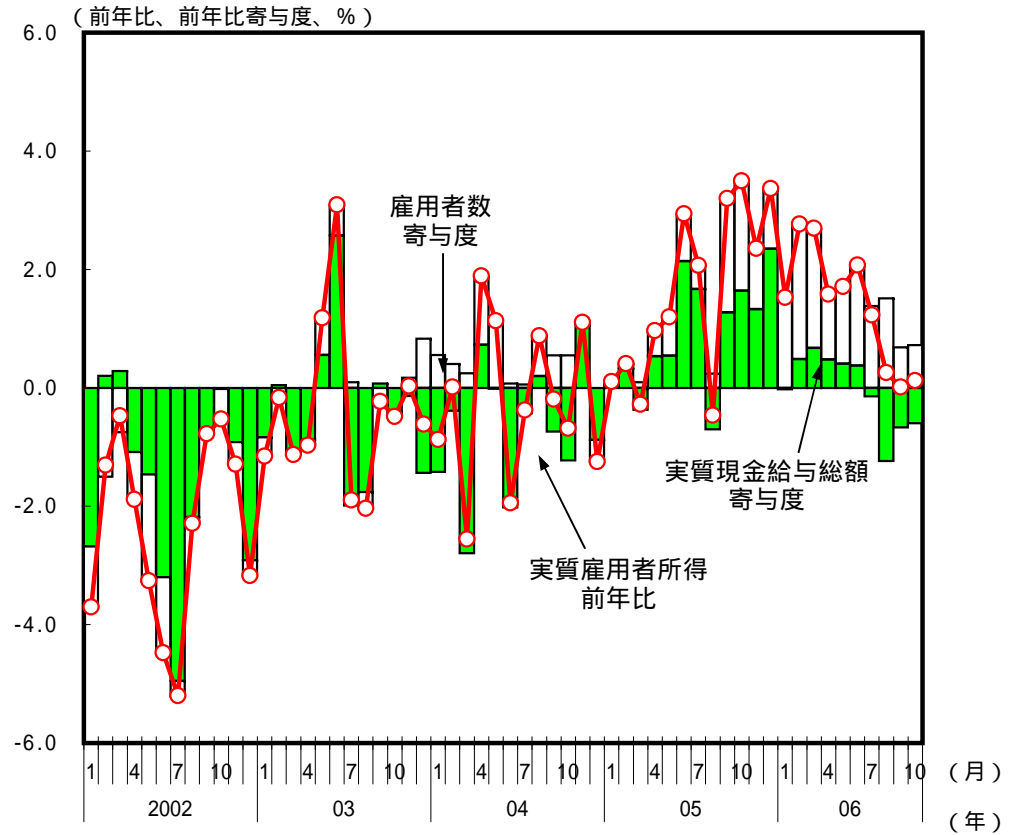
消費総合指数の推移



(備考) 消費総合指数は、内閣府(経済財政分析担当)で作成。季節調整値。

所得の伸びは鈍化している

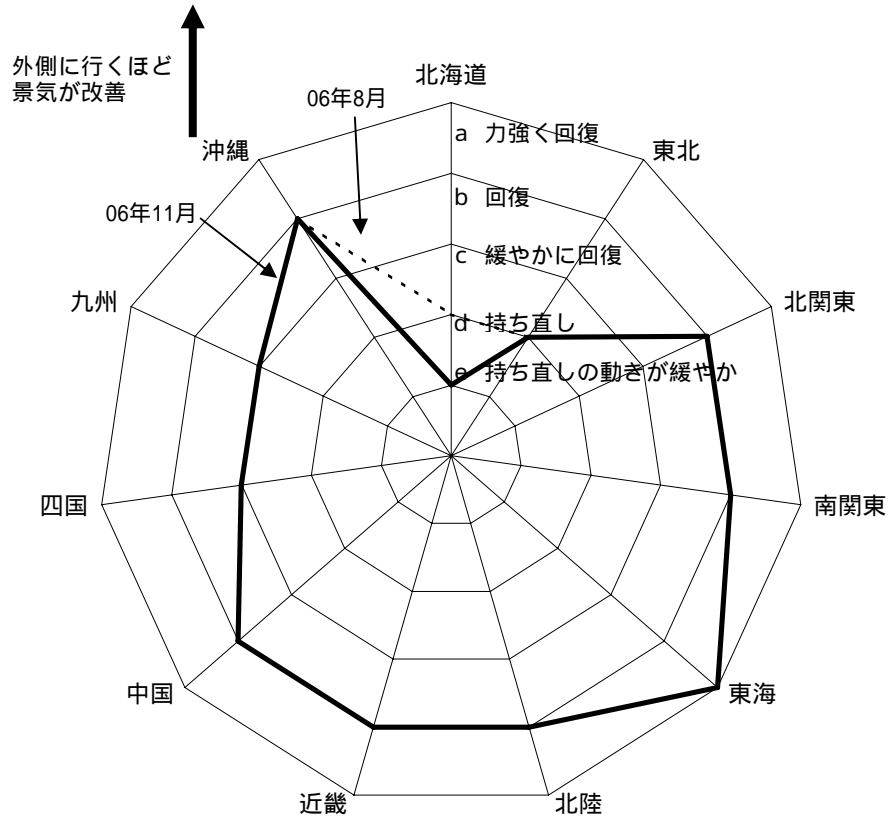
実質雇業者所得の要因分解



(備考) 実質雇業者所得は、現金給与総額(厚生労働省「毎月勤労統計」)と非農林業雇業者数(総務省「労働力調査」)を掛けあわせた内閣府試算値。

地域経済の動向

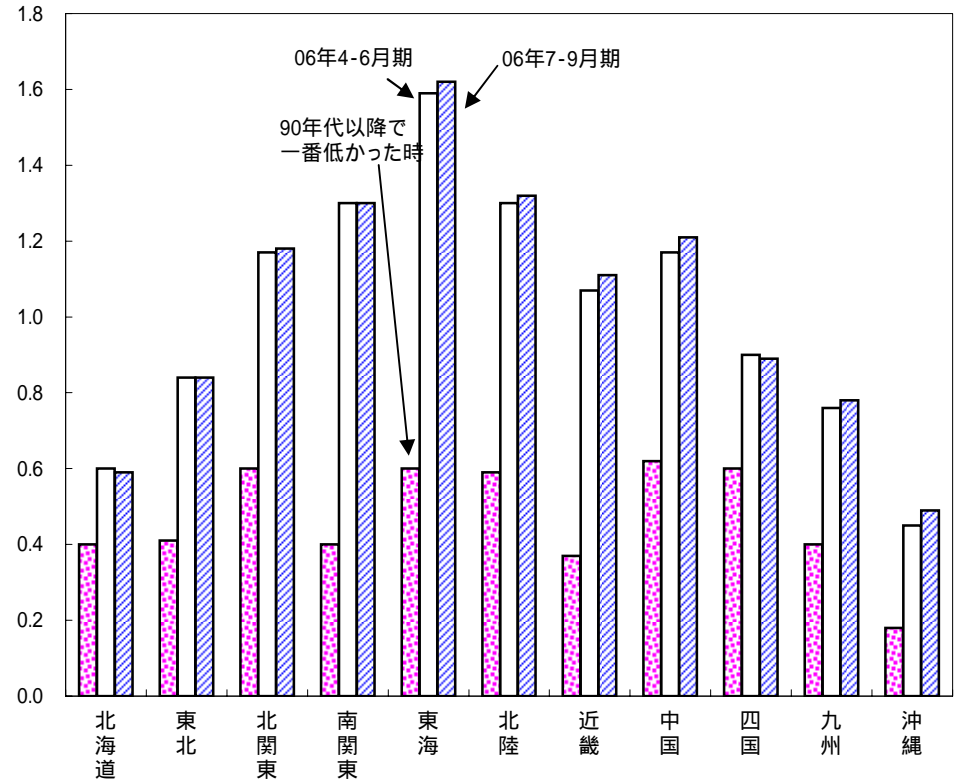
(図1)各地域の景気判断(地域経済動向 2006年11月)



(備考) 各地域の鉱工業生産、消費、雇用等の指標及び各種の情報を基に内閣府が四半期に1度各地域の景気動向を取りまとめたもの。
06年11月は、主に06年7-9月期の指標で判断。

(図2)有効求人倍率
- 改善傾向に一服感のみられる地域も -

(季節調整値、倍)



(備考) 厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

有効求人倍率が90年代以降で一番低かった時期はそれぞれ以下のとおり。

北海道：98年7-9月期、東北：01年10-12、02年1-3月期、北関東：02年1-3月期、南関東・東海：99年4-6月期、北陸：02年1-3月期、近畿：98年10-12～99年4-6月期、中国：99年4-6月期、02年1-3月期、四国：02年1-3、4-6月期、九州：02年1-3月期、沖縄：95年1-3、7-9、98年4-6月期

地域経済の動向

(表3) ボーナスや年末商戦に関連する街角の声
 (景気ウォッチャー調査11月のコメントより)
 (: やや良くなる、 : 変わらない、 : やや悪くなる)

北海道	ボーナスの支給もゼロないし減額の声が多い(商店街)
東北	収入が増える話は客から聞かれない(美容室)
北関東	過去数年間ボーナスを支給できなかった企業が支給できる(金融)
南関東	クリスマスケーキ、おせちの事前受注が堅調(百貨店)
東海	サラリーマンの給与が増えていない(一般レストラン)
北陸	歳末ギフトやクリスマス関連商品について、客から「買おう」という強い意欲が伝わってこない(百貨店)
近畿	宿泊は好調を維持、宴会部門は法人利用が停滞気味(都市型ホテル)
中国	年末年始は期待できるが、その時期を過ぎると不透明(百貨店)
四国	客から忘年会がなくなったという話や給料下落の話をよく聞く(タクシー運転手)
九州	年末年始はハワイ、グアム、東南アジアを中心に前年比110%以上、国内は全般的に出足が鈍い(旅行代理店)
沖縄	年末年始の予約状況が前年に比べて好調(レンタカー)

(備考) 1.内閣府「景気ウォッチャー調査」、特許庁公表資料、ご当地検定関連の各種HPより作成。ご当地検定は内閣府調べ。

2.07年度以降に開始予定のご当地検定は以下のとおり。

函館歴史文化観光、新潟市観光・文化、宮もの知り達人(栃木)、足利ふるさと、風林火山武田、松本検定、かながわ検定、鎌倉検定、尾張一宮学、飛騨自然、びわこ検定、篠山検定(京都)、丹後ふるさと、大阪検定、但馬学、但馬観光自然文化、神戸学検定、香住!カニ検定(兵庫)、龍馬検定(兵庫)、奈良まほろばソムリエ、松江・観光文化、大社文化観光、宮島、広島通、熊本・観光文化

地域の資産を掘り起こす取組み
 地域ブランドの登録認定を受けたもの
 - 12月までで96件が登録(4月からの申請数は631件) -

都道府県	件数	例
京都	19	京あられ
和歌山	7	和歌山ラーメン
岐阜	6	下呂温泉
石川	5	加賀みそ
沖縄	5	石垣の塩
神奈川	4	小田原かまぼこ
新潟	4	小千谷縮
広島	4	福山琴
北海道	3	十勝川西長いも
静岡	3	駿河湾桜えび
熊本	3	黒川温泉
山形	2	平田赤ねぎ
福島	2	南郷トマト
東京	2	江戸甘味噌
山梨	2	やはたいも
長野	2	市田柿

都道府県	件数	例
愛知	2	三州瓦
大阪	2	和泉もめん
奈良	2	高山茶筌
愛媛	2	西宇和みかん
佐賀	2	神埼そうめん
大分	2	関あじ
鹿児島	2	かごしま知覧茶
青森	1	たっこにんにく
群馬	1	高崎だるま
福井	1	越前漆器
滋賀	1	雄琴温泉
兵庫	1	豊岡鞆
鳥取	1	三朝温泉
徳島	1	瀧東ねぎ
福岡	1	博多人形
長崎	1	長崎カステラ

各地で広がるご当地検定

北海道	札幌シティガイド、十勝ワインバイザー、北海道フードマスター、北海道観光マスター、道産子検定
東北	盛岡もの識り、ナマハゲ伝道師、秋田ふるさと、米沢観光文化、会津ものしり
北関東	宮っこ検定(栃木)、富士山検定、信州観光文化、すわこおもてなしアカデミー
南関東	和光市検定(埼玉)、千葉学、東京シティガイド、江戸文化歴史
東海	いただきます(静岡)、岐阜市まちなか博士、お伊勢さん、伊賀学
北陸	越中富山ふるさとチャレンジ、金沢検定、ふるさと小松、ジュニアかなざわ、珠洲検定(石川)
近畿	彦根城下町、京都検定、歴史都市・京都から学ぶジュニア日本文化、長岡京市観光・歴史、京町家検定、大江山鬼、京野菜、ふるさと加茂、いばらき何でも知っとこ(大阪)、いたみ学検定、明石・タコ検定、姫路観光文化、六甲・摩耶学、有馬学検定、神戸暮らし、淡路おのころ島、大和郡山・金魚検定
中国	境港妖怪検定、岡山文化観光、萩ものしり博士
四国	四国観光、宇和島「通」歴史・文化、松山観光文化コンシェルジェ
九州	九州観光マスター、佐世保検定、長崎検定、かごしま検定
沖縄	沖縄旅行地理検定

海外経済の動向

2007年の成長率見通し：2006年をやや下回る成長と見込まれる

内閣府まとめ（2006年11月）

（前年比、％）

		2006年	2007年
アメリカ		3.4	2.6
アジア	北東アジア	8.3	7.5
	中国	10.4	9.3
	ASEAN	5.3	5.1
ユーロ圏		2.4	1.9

- （備考）1. 内閣府「世界経済の潮流2006年秋」により作成。
 2. 民間機関の見通しの平均値による。
 3. 「北東アジア」は、中国、韓国、台湾、香港。
 4. 「ASEAN」は、シンガポール、インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン。

OECD（2006年11月）

（前年比、％）

	2006年	2007年
アメリカ	3.3	2.4
ユーロ圏	2.6	2.2

アジア開発銀行（2006年12月）

（前年比、％）

	2006年	2007年
東アジア（日本除く）	7.7	7.0
中国	10.4	9.5
韓国	5.1	4.6
台湾	4.3	4.0
ASEAN	5.4	5.5

- （備考）「東アジア」は、中国、NIEs及びASEAN。ただし、「ASEAN」は、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム。